

2014 年度 松田 康子 氏 室内楽 特別講義

1. 日 時 : 2014年4月17日(木)17時30分～19時30分
(17時開場)
2. 場 所 : ミレニアムホール
3. 対象学生【必修】 : 大学院、大専、大学、短専、短大 管楽器(Hrのみ必修)・弦楽器専攻
大学院、大専、大学3・4年(含む特研)、演特コース、短大 ピアノ専攻
他聴講可
4. 講 師 紹 介 : 松田 康子 氏

裏面参照

5. 講 義 概 要 :

F.シューベルト

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ イ長調 D.574

Pf. 松田 康子

Vn. 久合田 緑

J.ブラームス

ホルン三重奏曲 変ホ長調 op.40

Pf. 松田 康子

Vn. 久合田 緑

Hr. 池田 重一

— 休憩 —

R.シューマン

ピアノ五重奏曲 変ホ長調 op.44

Pf. 松田 康子

1st.Vn. 久合田 緑

2nd.Vn. 森下 幸路

Va. 中島 悦子

Vc. 上塚 憲一

講師プロフィール

松田康子（まつだ・やすこ）

京都出身。13歳で大阪フィルハーモニー交響楽団と共演。京都市立堀川高校音楽科から東京藝術大学、同大学大学院に学ぶ。伊奈和子、土肥みゆき、田村宏、永井進、園田高弘の各氏に師事。73年渡独。ミュンヘン音大でローズル・シュミットに師事。国家芸術家試験に最優秀賞で合格。78年ヴィットリオ・グイ室内音楽コンクール入賞。84年セルジュ・チェリビダッケ指揮ミュンヘンフィルとラヴェル「ピアノ協奏曲」で共演、キャリアを本格スタートさせる。88年・90年・94年・96年ベルリン・フィルハーモニーホールでのモーツァルト・ピアノ協奏曲ツィクルス（コンラート・ラッテ指揮）。89年ザルツブルクのモーツァルト週間でレオポルト・ハーガー指揮ウィーンフィルと共演したのをはじめ、ポーランド室内管弦楽団、北ドイツ放送響、ミュンヘンフィル、中央ドイツ放送響と共演。

このほかにもザルツブルク・モーツァルトウム管弦楽団、イエナ・フィルハーモニー管弦楽団、パドヴァ室内管弦楽団、カッセル州立管弦楽団、バッハ・コレギウム・ミュンヘンなどの公演に招かれている。

リサイタルソリストとしてミュンヘン、モスクワ、ミラノ、ヤンゴンで演奏。

2011年にはゲーティンスティテュートの招待で、バングラデシュ、インドで演奏会、マスターコースを開く。

室内楽にも積極的に取り組んでおり、バイエルン放送響コンサートマスターのフロリアン・ゾーンライトナー、州立歌劇場管弦楽団首席チェロ奏者ペーター・ヴェットケ、バイエルン放送響元首席フルーティストのアンドラーシュ・アドリアンらとしばしば舞台を共にしているほか、2004年よりフランス、スペイン、イタリア、スロベニアでフランス人バイオリニストピエール・オマーージュとデュオで演奏活動。

ブゾーニ、カサ・グランデ、ボルト、ボッツォーリ、サンレモ、アンドーラ、ピネロロなどの国際ピアノコンクール、トリオ・デ・トリエステ室内楽、ヴィットーリオ・グイといった室内楽コンクールの審査員を務める。ミュンヘンのR・シュトラウス音楽院、京都市立芸術大学を経て現在ミュンヘン音楽大学で教鞭を執る。